



我孫子市

Abiko city

令和6年6月21日  
報道提供資料

中央学院大学連携カイギ部に「我孫子市PRサポーター」を委嘱  
～中央学院大学の学生と協働で関係人口創出へ！学内で市の魅力を発信～

我孫子市のファンや関係人口の創出と拡大を目指し、市内にある中央学院大学の連携カイギ部の学生に市PRサポーターを委嘱します。

これまでのPRサポーターの方には、市外の方を対象とした情報発信に取り組んでいただきましたが、今回は同じキャンパスに通学・通勤する学生や教職員がターゲットです。

「自宅とキャンパスの往復だけ」から脱して市内を巡ってもらい、市のファンを増やす取り組みを推進します。また、新入生や新人教職員の頃から学内で市の魅力に触れることで、将来的な交流人口や関係人口の創出と拡大、移住者の増加に繋がることを期待しています。

「我孫子市PRサポーター」委嘱状交付式

日時：令和6年6月25日（火）定例記者会見終了15分後～

場所：我孫子市議会棟1階 第一委員会室

出席者：中央学院大学地域連携カイギ部の学生10人、顧問2人

※交付式の様子は、当日学生が撮影した写真・動画を同大学内の市情報発信コーナーのモニターで放映予定です。

※取材を希望する方は事前に広報室（☎04-7185-1269）にご連絡ください。

現状と課題

関係人口の創出は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも重視され、市と同大学は平成20年に連携協定を締結し、協働で街づくりを進めてきました。

令和5年6月には同大学の学生会館に「市情報発信コーナー」を開設し、広報あびこ・観光ガイドブック「ABI ROAD」などの情報誌の配布、手賀沼花火大会などのイベントやふるさと大使・ナイツ塙宣之さんの市広報動画を放映してきました。しかし、更新頻度が月2回程度のため、学生や教職員約3,300人に興味・関心を持ってもらい、市のファンや関係人口を創出していくには、大きな課題が見つかりました。

委嘱後の活動

若い感性とアイデアを生かして「市情報発信コーナー」の活性化に取り組んでいただきます。広報あびこ（月2回、1日と16日に発行）の記事を手書きのポップを付けて紹介したり、注目イベントや人物を学生が取材し動画で紹介するなど、学内を拠点に、学生や教職員を引き付けるさまざまなアイデアを期待しています。

【問い合わせ】

我孫子市企画総務部秘書広報課

あびこの魅力発信室 担当：深田、奈良

電話：04-7185-2493

### ◎中央学院大学地域連携カイギ部

令和5年にサークルとして発足、令和6年に部へ。学内だけでなく地域や他の学校と繋がり社会を知ることから、課題解決やさまざまなイベント企画を行うことを目的としている。

部員数：62人（令和6年6月時点）

法学部33人、商学部25人、現代教養学部4人

4年18人、3年28人、2年10人、1年6人

活動実績：ボランティア活動（我孫子市100人カイギ、手賀沼トライアスロン、あびこで子育て応援フェスタなど）、「我孫子市100人カイギ」の企画・運営（令和5年「第55回あびこ祭」で実施）、我孫子駅北口美化プロジェクト参加、「我孫子北口ふれあいマルシェ」の企画・運営（令和5年11月）

### ◎市情報発信コーナー（同大学学生会館V i a 2階）

学生が市の情報に接する機会を増やすため、令和4年6月の川村学園女子大学に続き、大学からラックやモニターを提供いただき、令和5年6月に開設。

配布物：広報あびこ、観光ガイドブック「ABI ROAD」、男女共同参画冊子、イベントチラシなど

放映動画：手賀沼花火大会、市のPR動画、ふるさと大使・ナイツ塙宣之さんの市広報動画など市が提供した動画



▲市情報発信コーナー開設式（令和5年6月30日）



▲同コーナーの様子（令和6年6月10日）

### ◎PRサポーター

平成27年、シティプロモーションの活性化を目指して、市内の2大学（中央学院大学・川村学園女子大学）で活動中の写真部・写真同好会の学生に「我孫子市PRサポーター」を委嘱。市と協働で、部員が撮影した手賀沼遊歩道の桜や手賀沼花火大会などの写真を市ホームページやSNSで発信した。

令和元年、市内在住で元ケーブルテレビアナウンサーの茂木敬世さんに委嘱。千葉テレビの朝の情報番組「シャキット！」で、市の魅力を発信する「あびこナビ」コーナーリポーターを務めた。テレビの放送と併せて、YouTubeでも動画で発信した。